

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070800327		
法人名	医療法人柳泉会		
事業所名	グループホーム柳橋		
所在地	長野県小諸市大字諸407		
自己評価作成日	令和元年8月1日	評価結果市町村受理日	令和元年10月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhou_detail_022_kani=true&JiyosyoCd=2070800327-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和元年9月10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

これまで地域の皆さんとのさまざまな交流は、グループホームを理解してもらうための貴重な機会と位置付け、積極的に取り組んできた。特に地元諸区との交流は、文化祭に利用者の作品を展示してもらったり、市民祭りには諸区からの要請により職員が大人神輿の担ぎ手として参加したり、子ども神輿がグループホーム前を練り歩く際は利用者が手作りの団扇で声援を送ります。毎年夏になると子ども神輿が来ることを楽しみにしています。地元諸区で毎月、定期的に公民館で開かれる「ふれあい会食会」や「健康達人くらぶ」に利用者が交替で参加し、レクリエーションや軽体操などを区内のお年寄りと一緒に楽しみ気軽に声をかけてもらえるようになっている。地元の小中学生との交流では、小学生にグループホームに来ていただき、利用者といっしょに七夕飾りやクリスマス会などの交流を行ったり、地元小学校の運動会や音楽会、中学校の文化祭に招待していただき参加しています。また、利用者の外出の機会としてお花見や紅葉を楽しみながらご家族と一緒に外出する機会を図っています。利用者の安全確保のため、年2回実施する消防訓練では入所者全員を屋外に避難させる訓練を実施しています。この避難訓練は、平成29年3月に策定した非常災害対策計画にある避難訓練を兼ねて実施しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

国道18号線から小諸インターチェンジに向かう県道から入った小諸市の高台に当ホームはあり、近くには有名なワイン工場がある。病院・介護老人保健施設など各種サービスを展開する医療法人により2002年に開設され17年が経ち、ホームでの看取りは基本的にを行うことはないが、法人内での連携が取れることで利用者や家族は安心している。法人の理念6項目、ホームの理念5項目、また、ホームとしての目標やスローガンも掲げ、統一したケアに取り組んでいる。ホームとして地区の文化祭に作品を出展し見学に出掛けたり、小学校から運動会・音楽会へ招待され、同じ小学校の3年生2クラスが交互に春と秋、計4回来訪し利用者と交流している。中学生の体験学習も市内の2校から4名ずつあり、ボランティアの来訪も多く利用者は楽しみにしている。家族会も年3回外出を兼ねて行い、家族と話す良い機会とらえ意識疎通を図っている。利用者も半数が90歳以上で平均年齢も88.7歳となり高齢化が進んでいるが、受診についてはホームの看護師または職員が付き添い日頃の様子を情報提供し、医療機関との連携も素早く行い、利用者が落ち着いて生活できる環境を作っており家族も喜ばれている。「その人らしい当たり前の生活を保障しよう」という法人の理念に沿い、病気はあっても家庭的な雰囲気の中で利用者が役割を持ち自由に暮らしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		